



・何らかの症状がある場合は、検査結果にかかわらず必ず医師に報告し、受診すること。・結果が陽性の場合は、必ず医師に報告し、受診すること。
2) 検査の条件により検査結果が変動する場合があります。検査結果とともに、次の事項も報告するよう指導してください。

- ・検査時間(起床時、食後、運動後等)・薬剤の服用・生理中の方(潜血の反応が陽性になることがあります)
- 3) 試験紙の品質を確保し、正しい結果を得るため、次の事項を徹底するよう指導してください。
 - ・開封後はなるべく早めに使用してください。
 - ・必要な枚数の試験紙だけを取出し、直ちに容器のフタをきちんと閉めて保管してください。フタの閉め方が不十分な場合、試験紙が湿気を吸って、使用期限内でも正しく検査できなくなります。
 - ・使用時やフタ開閉時には、水濡れを避けること。
 - ・吸湿お知らせ窓(フタのうら側)は吸湿により色が変わります。フタを開けた時の色で試験紙の使用可否を判断してください。(吸湿お知らせ窓の色見本は色調表「成分・分量」の下にあります)
- ・試験紙が変色しているものは使用しないこと。・使用期限を過ぎたものは使用しないこと。
- ・他の容器に入れ替えないこと。・試験紙を切って使用しないこと。
- 4) 試験紙の保管には、次の事項を注意するよう指導してください。
 - ・水濡れ、熱、直射日光を避けて保管すること。・小児の手の届かないところに保管すること。
 - ・冷蔵庫で保管しないこと。
- 5. その他
 - ・使用後のスティックはそのままトイレ(大便器)に流すことができますが、小用便器には流さないでください。

青→うすい青	○ 試験紙は使えます。
白→うすいピンク	× 試験紙は使えなくなりました。

■貯法、有効期間

高温の所、直射日光の当たるところに保管しない。

試験紙の劣化の原因となります。

密栓をして保管する。

密栓をしなないと試験紙の劣化の原因となります。

水に濡れる所で保管しない。

試験紙の劣化の原因となります。

貯法：室温保存(直射日光および湿気を避け密栓して涼しいところに保管してください)
小児の手の届かないところに保管してください。
冷蔵庫に保管しないでください。

有効期間：2年(使用期限はラベル及び外箱に表示)

■包装単位 1缶(10枚入り)×1 1缶(50枚入り)×1

■主要文献及び文献請求先

1. 主要文献

・今井宣子ほか：尿試験紙「ウリエース-M」の評価、機器・試薬、1984；7：711。・和田宏高ほか：尿検査用試験紙「ウリエースM」の基礎的検討、機器・試薬、1984；7：743。・長沢秀子ほか：尿検査試験紙「ウリエースM」の評価、機器・試薬、1984；7：751。・福留明子ほか：尿試験紙「ウリエースM」の検討、機器・試薬、1984；7：759。・脇田慎司ほか：尿定性試験紙ウリエースMの基礎的検討、最新検査、1984；2：387。・棚橋洋子ほか：尿試験紙「ウリエースM」の使用経験、機器・試薬、1985；8：115。・真田正美ほか：尿検査用試験紙ウリエースM尿糖試験部の検討成績、機器・試薬、1985；8：123。・工藤尚美ほか：尿検査試験紙「ウリエースM」の検討、機器・試薬、1985；8：817。・大小田ひろ子ほか：尿糖検査用試験紙の検討—とくにアスコルビン酸の影響—、最新検査、1985；3：309。・江波戸君枝ほか：アスコルビン酸の影響を回避した尿糖試験紙「ウリエース-M」の検討、生物試料分析、1985；8：58。・加瀬沢信彦ほか：尿糖試験紙法におけるアスコルビン酸干渉の現状と問題点、日本総合健診医学会誌、1985；12：257。・細重茂実ほか：尿糖試験紙の比較・評価に関する検討—「ウリエース-Ga」と他法との比較—、機器・試薬、1985；8：1343。

2. 文献請求先 テルモ株式会社 学術情報部 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号

この説明書をよく読んでからお使いください。
なお必要なときに読めるように保管しておいてください。

**■開発の経緯及び特徴

尿中には代謝の終末産物、塩類、ホルモン、酵素などが含まれています。尿成分の量的・質的な変化あるいは異常物質の出現を検査することにより、腎、尿路の疾患のみならず肝その他諸器官の機能を知ることが可能です。ウリエース Kc は尿中の潜血・蛋白質及びブドウ糖を、短時間で簡便に測定できる試験紙であり、尿路系、腎、糖代謝のスクリーニングに使用できます。また、尿中にビタミンC(アスコルビン酸)が存在する場合、ブドウ糖試験紙が偽陰性になることがあります。ウリエースはビタミンC(アスコルビン酸)の作用を打ち消す成分が配合されていますので、判定結果への影響はほとんどありません。

注意：在宅での自己検査を指導する際には、裏面「在宅使用者への使用上の注意」を徹底してください。

■本質(キットの構成)

スティック(トイレに流せませす)
折れやすいので取り扱いには十分注意してください。

ブドウ糖試験紙
蛋白質試験紙
潜血試験紙
各試験紙には触れないでください。

吸湿お知らせ窓(フタのうら側)
吸湿により色が変わります。フタを開けた時の色で試験紙の使用可否を判断してください。
※奥には乾燥剤が入っていますが、取り出さないでください。(詳しくは裏面をご覧ください)

色調表(容器に貼付)
検査結果を判定するときに使います。

[各試験紙100枚中の成分・分量]

潜血試験紙	ビス [4-(α -ヒドロペルオキシソプロピル)ベンジル]エーテル	6.8mg
	o-トリジン	11.4mg
蛋白質試験紙	テトラプロムフェノールブルー	0.36mg
ブドウ糖試験紙	グルコースオキシダーゼ	53.3IU
	ペルオキシダーゼ	0.63mg
	o-トリジン	24.8mg

この尿試験紙はウリエースKcです。

テルモ株式会社

http://www.terumo.co.jp/healthcare/

テルモ・コールセンター
☎0120-00-8178
(9:00~17:00 土日・祝日を除く)

TERUMO® 製造販売元:テルモ株式会社
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号

■効能・効果（使用目的）

尿中潜血・蛋白質及びブドウ糖の半定量検査

■用法・用量（操作法）

コップに採尿する場合

清浄な容器に新鮮な尿を採る
尿の量は3cmぐらいの深さで十分です。

スティックを容器から取り出しすぐに密栓する
水にぬれた手で取り出さないでください。

試験紙を尿に約1秒間浸す
試験紙についた余分な尿は、コップの縁などでかるく取り除いてください。

試験紙の色を尿に浸してから
潜血試験紙は20秒後
蛋白質試験紙は10秒後
ブドウ糖試験紙は30秒後に色調表の色と比較判定する。

直接尿をかける場合

スティックを容器から取り出しすぐに密栓する
水にぬれた手で取り出さないでください。

試験紙に尿を約1秒間かける
試験紙についた余分な尿は、トイレットペーパーを試験紙の縁に軽くあて、吸い取ってください。

試験紙の色を尿に浸してから
潜血試験紙は20秒後
蛋白質試験紙は10秒後
ブドウ糖試験紙は30秒後に色調表の色と比較判定する。

■測定方法（測定原理）

潜血試験紙：ヘモグロビン偽ペルオキシダーゼ活性法

蛋白質試験紙：pH指示薬の蛋白誤差法

ブドウ糖試験紙：酵素法（グルコースオキシダーゼ法）

■性能

潜血試験紙

赤血球とヘモグロビンの識別が可能。ヘモグロビンのほかにミオグロビンとも反応します。尿中赤血球濃度約5個/μLから検出できます。

蛋白質試験紙

アルブミンに対して敏感に反応しますが、Bence-Jones蛋白、ムコ蛋白、アルブモゼにはほとんど反応しません。尿中蛋白質濃度約15mg/dLから検出できます。

ブドウ糖試験紙

ブドウ糖に特異的に反応し、乳糖、果糖、ガラクトース等の糖類には反応しません。尿中ブドウ糖濃度約50mg/dLから検出できます。

■操作上の留意事項

潜血試験紙

尿中にアスコルビン酸が多量に存在すると、偽陰性になることがあります。洗剤や消毒剤に含まれる酸化剤が偽陽性になることがあります。

蛋白質試験紙

洗剤や消毒剤に含まれる第4級アンモニウム塩が偽陽性になることがあります。

ブドウ糖試験紙

尿中に300mg/dL以上のビタミンC（アスコルビン酸）が存在すると偽陰性になることがあります。また尿中にビタミンCが存在すると、呈色に濃淡がおこる傾向があります。その場合は、濃い部分で判定してください。洗剤や消毒剤に含まれる酸化剤が偽陽性になることがあります。高比重尿でブドウ糖に対する反応性が低下します。温度により反応性が変化します。

■測定結果の判定法

潜血試験紙					
色調変化の違い	《青緑色の斑点状に発色》尿中の赤血球が壊れないで存在する場合。 《試験紙全体が青緑色に変化》尿中の赤血球が壊れ、赤血球に含まれていたヘモグロビンを検出した場合。				
色調表の記号	陰性		+	++	+++
潜血	ヘモグロビン濃度 mg/dL	0～（検出限界以下）	* 約0.06	約0.15	約0.75
	赤血球濃度 個/μL	0～（検出限界以下）	* 約20	約50	約250
判定	今回の検査ではほとんど潜血は検出されませんでした。			今回の検査では潜血が検出されました。	

蛋白質試験紙						
色調表の記号	陰性	±	+	++	+++	++++
蛋白質濃度 mg/dL	0～（検出限界以下）	約15	約30	約100	約250	約1000
判定	今回の検査ではほとんど尿蛋白は検出されませんでした。		今回の検査では少し尿蛋白が検出されました。	今回の検査では多めの尿蛋白が検出されました。		

ブドウ糖試験紙						
色調表の記号	陰性	±	+	++	+++	
ブドウ糖濃度 mg/dL	0～（検出限界以下）	約50	* 約100	約500	約2000	
判定	今回の検査ではほとんど尿糖は検出されませんでした。			今回の検査では多めの尿糖が検出されました。		

■使用上又は取扱い上の注意

1. 検体についての注意
 - ・検体は新鮮な尿を使用してください。被検尿を長時間放置すると尿成分が変化します。
 - ・採尿の容器は清浄なものを使用してください。
2. 試験紙の取扱い上の注意
 - 1) 尿検査以外に使用しないでください。
 - 2) 開栓後の保存方法が悪いと、使用期限内でも呈色反応が不良となります。取扱いにあたっては次の点に注意してください。
 - ・検査の直前に必要な枚数だけを取り出して、容器は直ちに密栓してください。・水で濡れた手で開封、取り出しを行わないでください。・容器の中に入っている乾燥剤は取り出さないでください。
 - 3) 試験紙に直接皮膚を触れないでください。
 - 4) 揮発性薬品（特に酸・アルカリ）による汚染を避けてください。
3. 使用上の注意
 - 1) この説明書の「使用法」に従って使用してください。
 - 2) 試験紙を尿に浸す際は、次の点に注意してください。
 - ・試験紙を尿中に完全に浸してください。完全に浸さないと、呈色にムラを生じ、判定がしにくくなります。
 - ・試験紙を尿中に長く浸したり、試験紙に尿をかけすぎると、試薬が溶出したり、スティックが変形して、判定しにくくなったり、正しい結果が得られないことがあります。・試験紙に付着した過量な尿は取り除いてください。過量な尿が付着していると、試薬間の相互反応が起こるなどにより、正しい結果が得られないことがあります。・試験紙で尿の攪拌を行わないでください。
 - 3) 判定にかかわる注意事項
 - ・定められた時間で正しく判定してください。呈色反応は時間とともに進行します。
 - ・蛍光灯など適切な光線の下で判定してください。直射日光の下での判定は行わないでください。
4. 在宅使用者への使用上の注意
 - 1) 次の場合自己診断・治療を行わず、必ず医師に報告し、受診するよう指導してください。
 - ・検査結果が陰性の場合でも、他の所見と合わせて診断する必要があるため、必ず医師に報告し、受診すること。